

## 三重県議会の活動 10大ニュース及び人権、ダイバーシティ社会推進に関するアンケート

### 実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
人権課	2018年11月22日から 2018年12月06日まで	1145	742	64%

今回は、三重県議会事務局、人権課、ダイバーシティ社会推進課からアンケートのお願いです。

三重県議会では、例年12月に1年間の県議会の主な活動内容を振り返る「三重県議会の活動10大ニュース」を発表しています。「三重県議会の活動10大ニュース」の選定にあたっては、県民の皆さんのご意見も参考にしています。

皆さんが今年の10大ニュースとしてふさわしいと考える取組について、お聞かせください。

平成30年三重県議会の活動10大ニュース候補の概要は、添付ファイルをご覧ください。

また、平成29年の結果は、下記のアドレスからご確認ください。

(参考) 三重県議会ホームページ：[http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/000125131\\_00002.htm](http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/000125131_00002.htm)

つぎに、人権課からお聞きします。

県では、「人権が尊重される三重をつくる条例」に基づき、「不当な差別のない、人権が尊重される、明るく住みよい社会の実現」をめざしています。人権が尊重される社会の実現に関する取組を推進するため、皆さんの人権に関する意識や実態についてアンケートを実施します。

最後に、ダイバーシティ社会推進課からお聞きします。

県では、性別・年齢・障がいの有無・国籍・文化的背景、性的指向・性自認などにかかわらず、一人ひとり違った個性や能力を持つ個人として尊重され、誰もが希望を持って日々自分らしく生きられる、誰もが自分の目標に向けて挑戦できる、誰もが能力を発揮し、参画・活躍できる社会を「ダイバーシティ社会」ととらえ、そのような社会の実現に向けた取組を進めています。今後の取組に役立てるため、皆さんの意識についてアンケートを実施します。

ご協力をお願いします。

### ■ 添付ファイル

- [平成30年三重県議会の活動10大ニュース候補（概要）](#)

### ■ Q1 「三重県議会の活動10大ニュース」の選定について

最初に、三重県議会事務局からお聞きします。

あなたが、10大ニュースと思われる活動を、次のニュース一覧から最大10個まで選んでください。

※「その他」は、選択肢以外で、あなたがおすすめの実組がありましたら選んでください。

※各項目の概要は、添付ファイル（PDF形式）もしくは、三重県議会ホームページをご覧ください。

三重県議会ホームページ：[http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/000125145\\_00003.htm](http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/000125145_00003.htm)

合計	742	
「みえ現場de県議会～観光・交流の推進～」を開催（1月）	161	21.7%
県議会新体制の発足（議長、副議長、正副委員長等の選出）（5月）	87	11.7%
「みえ高校生県議会」を開催（8月）	217	29.2%
議会中継への手話通訳導入（10月）	223	30.1%
「みえ県議会出前講座」実施要領の見直し等を開始（10月）	73	9.8%
「みえ現場de県議会～ダイバーシティ社会の推進～」を開催（11月）	140	18.9%

「平成30年版成果レポート」に関し知事に申し入れ（8月）	55	7.4%
議会改革推進会議総会に議会改革度の向上及び議会基本条例の改正に関する検討結果を報告（3月）	67	9.0%
障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例（議員提出条例）の制定（6月）	283	38.1%
大規模な災害その他の緊急事態への対応に関する規定を盛り込む議会基本条例（議員提出条例）の改正（6月）	305	41.1%
「大規模な災害等緊急事態への県議会の対応に関する検討会」を設置（6月）	248	33.4%
「若者と政治」、「スポーツによる地域振興」、「議会改革」、「災害時における議会の役割等」をテーマにした「議員勉強会」を開催（1月、3月、10月、12月）	157	21.2%
紀伊半島三県議会交流会議を熊野市で開催（7月）	109	14.7%
議員の定数（45人→51人）、選挙区等の見直しに関する条例（議員提出条例）の可決（3月）	247	33.3%
政務活動費を減額（4月）	280	37.7%
「議会経費削減に関する検討プロジェクト会議」を設置（7月）	166	22.4%
議員の定数（51人→45人）、選挙区等の見直しに関する条例（議員提出条例）の否決（9月）	307	41.4%
公共政策大学院からインターンシップ実習生を受入れ（9月）	104	14.0%
その他	32	4.3%

## ■ Q2 人権に関する知識について

ここからは、人権に関することについてお聞きします。

平成28年に、差別をなくし、人権が尊重される社会をつくるための3つの法律が施行されました。あなたは、以下の法律があることをご存じですか。ご存じのものをすべて選んでください。

<b>合計</b>	<b>742</b>	
障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法、平成28年4月1日施行）	265	35.7%
本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法、平成28年6月3日施行）	182	24.5%

部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法、平成28年12月16日施行）	185	24.9%
いずれも知らない	398	53.6%

### ■ Q3 人権尊重社会について 1

三重県では、「性別、出身地、障がいの有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力を発揮できる機会が誰にでも与えられる社会」の実現をめざしています。

あなたは、「三重県が県民一人ひとりの人権が尊重されている社会になっている」と感じますか。

合計	742	
感じる	14	1.9%
どちらかといえば感じる	128	17.3%
どちらともいえない	258	34.8%
どちらかといえば感じない	129	17.4%
感じない	87	11.7%
わからない	126	17.0%

### ■ Q5 人権啓発・人権学習の機会について 1

あなたは、最近1年間で、人権に関する啓発等について、見たり、聞いたり、人権に関して学んだ機会がありましたか（職場や学校での参加も含みます）。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	742	
人権に関するイベントやスポーツの試合と連携した啓発等に参加した	31	4.2%
人権に関する講演会や学習会に参加した	106	14.3%
人権メッセージ、ポスター等に応募した	24	3.2%
駅・ショッピングセンター等での街頭啓発に参加したり、啓発物品を受け取ったりした	91	12.3%
人権ライブラリー（図書・ビデオ）等を利用したり、インターネット等で人権に関する情報の視聴や収集をしたりした	39	5.3%
地域やボランティア団体等の活動に参加した	45	6.1%
国・県・市町の広報紙による広報を読んだ	218	29.4%
人権ポスターやチラシ、人権フォトコンテスト等の展示を見た	185	24.9%
テレビ・ラジオのスポットCMや鉄道車内の吊り広告を見た	206	27.8%
特になかった	261	35.2%
その他	17	2.3%

## ■ Q6 人権啓発・人権学習の機会について 2

Q5で「特になかった」とお答えいただいた方にお聞きます。なかった理由を1つ選んでください。

合計	261	
イベントや講演会の開催、ポスターの募集などについて知らなかった	142	54.4%
イベントや講演会が開催されることは知っていたが、時間や場所の都合で参加できなかった	23	8.8%
対象者が限定されており、参加や応募ができなかった	3	1.1%
人権に関心がない	55	21.1%
人権について、十分に理解しているので参加しなかった（必要がない）	17	6.5%
その他	21	8.0%

## ■ Q7 性的マイノリティの人々の人権について

性的指向や性自認に関わるLGBT等の性的マイノリティの人々は、社会の理解が不足しているために偏見を持たれたり、性の区分を前提にした社会生活上の制約を受けたりするなど、さまざまな問題が生じています。

あなたは、性的マイノリティの人々について、現在、どのような問題が起きていると思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	742	
職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	417	56.2%
就職・職場で不利な扱いを受けること	378	50.9%
差別的な言動をされること	439	59.2%
アパート等への入居を拒否されること	97	13.1%
宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	108	14.6%
じろじろ見られたり、避けられたりすること	332	44.7%
特にない	49	6.6%
わからない	96	12.9%
その他	12	1.6%

## ■ Q8 人権侵害について

あなた、またはあなたの家族や友人・知人が、最近1年間で、いじめや虐待、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、ドメスティック・バイオレンス（DV）※、差別待遇等の人権侵害を受けた（受けたと感じた）ことがありましたか。

※ドメスティック・バイオレンス（DV）とは、夫婦や恋人など親密な関係にある、またはあった人からの身体的・心理的暴力などをいいます。

合計	742	
あった	207	27.9%
なかった	535	72.1%

## ■ Q9 人権相談について 1

Q8で「あった」とお答えいただいた方は、そのとき、どこへ（誰に）相談しましたか。また、「なかった」とお答えいただいた方は、もし、あなたが、何らかの人権侵害を受けた場合、どこへ（誰に）相談しますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	742	
家族や友人、職場の同僚等	338	45.6%
職場の上司、学校の先生、自治会長等	105	14.2%
市町の相談窓口等	164	22.1%
県の相談窓口等	68	9.2%
地方法務局の相談窓口	32	4.3%
人権擁護委員	47	6.3%
民生委員・児童委員	31	4.2%
警察	90	12.1%
弁護士	74	10.0%
誰にも相談しなかった（しない）	127	17.1%
その他	90	12.1%

## ■ Q10 人権相談について 2

Q9で「誰にも相談しなかった（しない）」とお答えいただいた方にお聞きします。誰にも相談しなかった（しない）理由を教えてください。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	127	
我慢できる程度の事柄だった	29	22.8%
今までの人間関係をこわしたくなかった	29	22.8%
抗議したり、対抗処置ができるような相手ではなかった	25	19.7%
人に言えるような事柄ではなかった	21	16.5%
相談したかったが、誰に（どこに）相談してよいかわからなかった	29	22.8%
相談機関に相談すると、プライバシーが守られないと思った	17	13.4%
過去に相談したり訴えたりしたことがあるが、役に立たなかった	20	15.7%
その他	20	15.7%

## ■ Q11 人権尊重社会への取組について

あなたは、人権が尊重される社会の実現のために、どのような取組が特に重要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	742	
住民やNPO団体等が、人権が尊重されるまちづくりに取り組むこと	182	24.5%
企業、事業所が人権研修を実施したり、社会的責任として人権問題に関する取組を支援していくこと	327	44.1%
行政が人権尊重の視点に立った取組を進めていくこと	288	38.8%
行政が人権啓発活動を進めていくこと	192	25.9%
学校や地域で、人権教育を充実していくこと	458	61.7%
人権との関わりの深い職業に従事している人の人権意識を高めていくこと	145	19.5%
人権問題に関する相談体制を充実させていくこと	246	33.2%
人権侵害を受けた人に対する救済策を充実すること	240	32.3%
特にない	29	3.9%
わからない	36	4.9%
その他	31	4.2%

## ■ Q12 「ダイバーシティ」について

ここからは、ダイバーシティ社会推進課からお聞きします。

あなたは「ダイバーシティ」という言葉をご存じですか。「知らない」とお答えいただいた方は、Q15へお進みください。

合計	742	
知っている	338	45.6%
知らない	404	54.4%

## ■ Q13 「ダイバーシティ」について 2

Q12で「知っている」とお答えいただいた方にお聞きします。あなたは、「ダイバーシティ」という言葉から、何をイメージしますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	338	
性別	176	52.1%
年齢	106	31.4%

障がいの有無	176	52.1%
国籍・文化的背景	233	68.9%
性的指向・性自認	135	39.9%
価値観	141	41.7%
その他	24	7.1%

### ■ Q14 「ダイバーシティ」について 3

Q12で、「知っている」とお答えいただいた方にお聞きします。あなたは、「ダイバーシティ」という言葉をどこで（何で）知りましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

<b>合計</b>	<b>338</b>	
新聞	146	43.2%
書籍、雑誌	78	23.1%
テレビ、ラジオ	155	45.9%
インターネット	139	41.1%
職場、企業情報	95	28.1%
家族や友人の会話	17	5.0%
その他	19	5.6%

### ■ Q15 ダイバーシティ社会の実現について 1

あなたは、性別や年齢、障がいの有無、国籍等にかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現は、大切なことだと思いますか。

<b>合計</b>	<b>742</b>	
そう思う	353	47.6%
どちらかといえばそう思う	288	38.8%
どちらかといえばそう思わない	21	2.8%
そう思わない	11	1.5%
わからない	57	7.7%
その他	12	1.6%

### ■ Q16 ダイバーシティ社会の実現について 2

Q15で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」とお答えいただいた方にお聞きします。

あなたは、ダイバーシティ社会を実現していくうえで、どのような視点が大切だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

<b>合計</b>	<b>742</b>	
一人ひとりの違いを知ること、伝えること	441	59.4%
さまざまな人と、より交流すること	329	44.3%

みんなが力を発揮し、互いに支え合うこと	240	32.3%
誰もが楽しめる、誰にとっても便利という発想を持つこと	183	24.7%
社会の仕組みをより多様かつ柔軟にすること	323	43.5%
違った目線、考え方に会う中から、新しい価値が生まれたり、変革が起こったりすること	319	43.0%
その他	49	6.6%

### ■ Q17 ダイバーシティ社会の実現について 3

性別や年齢、障がいの有無、国籍等に関わらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現のために、さまざまな取組が必要であると考えますが、県民の皆さんとともに進めるうえで、あなたは、県の取組として何を優先すべきであると思いますか。主なものを2つまで選んでください。


合計	742	
ダイバーシティの理解、共感	357	48.1%
教育	326	43.9%
世代、障がい、国籍、文化などを超えた交流	225	30.3%
暮らしにおける地域の支え合い	130	17.5%
あらゆる分野での女性の活躍	43	5.8%
就労環境の充実、働き方改革	192	25.9%
その他	24	3.2%





## 平成30年 三重県議会の活動10大ニュース候補（概要）


10大ニュースの候補を議会の基本取組ごとにリストアップしました。それぞれの内容は以下のとおりですので、皆さんの選定の参考にしてください。


### ～開かれた議会運営の実現～


1月	① 「みえ現場 de 県議会～観光・交流の推進～」を開催
<p>「みえ現場 de 県議会」は、県議会広聴広報会議の委員等が各地域に出向き、直接県民の皆さんからご意見をお聞きする取組です。1月22日に鳥羽マリンターミナルで、「観光・交流の推進」をテーマに開催しました。</p> <p>当日は、海女や真珠など地域の観光資源に関わっている皆さんなどから地域の観光資源を生かしながら観光・交流を推進していく上での課題や県に期待することなど、さまざまなご意見をいただきました。</p>	
	
<p style="text-align: center;">みえ現場 de 県議会の様子</p>	

5月	② 県議会新体制の発足（議長、副議長、正副委員長等の選出）
<p>5月に正副議長選挙を行い、議長に前田剛志議員（新政みえ、津市選出）、副議長に前野和美議員（自由民主党県議団、津市選出）を選出しました。また、7つの常任委員会及び議会運営委員会の委員・正副委員長などの選出も行い、県議会の新体制が発足しました。</p>	
	
<p style="text-align: center;">議長選挙の様子</p>	


8月	③ 「みえ高校生県議会」を開催
<p>高校生に議会活動を体験してもらうことで議会に対する関心を高めてもらうとともに、高校生の意見を直接議会での議論に反映していくことを目的に、8月21日に「みえ高校生県議会」を開催しました。参加者は県内の高校などから募集し、11校の生徒40人が参加しました。</p> <p>当日は、3人の高校生が交替で議長として進行役を務め、高校生が県政に対する質問を行い、県議会議員が答えました。</p>	
	
<p style="text-align: center;">みえ高校生県議会の様子</p>	

10月	④ 議会中継への手話通訳導入
<p>平成28年6月に議員提出条例である「三重県手話言語条例」が成立し、手話による情報発信等に積極的に取り組む必要があること、また、県民を対象としたアンケート調査で、議会中継への手話通訳導入に肯定的な回答が多かったことなどを踏まえ、今年度の代表質問及び予算決算常任委員会総括質疑の中継映像に手話通訳を導入しました。</p>	
<div style="text-align: right;">  <p>手話通訳を導入した議会中継</p> </div>	


10月	⑤ 「みえ県議会出前講座」実施要領の見直し等を開始
<p>広聴広報会議では、9月に実施した「みえ県議会出前講座」において、実施要領の周知徹底不足と思われる事案が発生したことから、実施要領の見直しと再度の周知徹底を図りました。また、11月現在、実施要領に主権者教育及びキャリア教育の視点が盛り込まれていないことから、今後それらを実施要領に盛り込む方向で検討を進めています。</p>	
<div style="text-align: right;">  <p>広聴広報会議の様子</p> </div>	


11月	⑥ 「みえ現場 de 県議会～ダイバーシティ社会の推進～」を開催
<p>「みえ現場 de 県議会」は、県議会広聴広報会議の委員等が各地域に出向き、直接県民の皆さんからご意見をお聞きする取組です。11月19日に亀山市文化会館で、「ダイバーシティ社会の推進」をテーマに開催しました。</p> <p>当日は各分野でダイバーシティ社会の推進に関わっている方などから、ヘルプマークや同性カップルパートナーシップ制度の普及、民間主導による多文化共生など、さまざまな立場からのご意見をいただきました。</p>	
<div style="text-align: right;">  <p>みえ現場 de 県議会の様子</p> </div>	

～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～

8月	⑦ 「平成30年版成果レポート」に関し知事に申し入れ
<p>8月9日に、予算決算常任委員会及び各行政部門別常任委員会から知事に対し、「平成30年版成果レポート」に基づく今後の「県政運営」等に関して申し入れを行いました。</p>  <p>知事への申し入れの様子</p>	

～独自の政策提言と政策立案の強化～

3月	⑧ 議会改革推進会議総会に議会改革度の向上及び議会基本条例の改正に関する検討結果を報告
<p>県議会では、昨年9月に議会改革推進会議内に「議会改革度の向上及び議会基本条例の改正に関する検討プロジェクト会議」を設置し、検討した結果、議会基本条例に「大規模な災害その他の緊急事態への対応」に関する基本的な規定を新設すること、また、現行の議会基本条例の活用等を検討していくことを取りまとめました。この検討結果については、本年3月に議会改革推進会議総会に報告し了承されました。</p>  <p>検討プロジェクト会議の様子</p>	

6月	⑨ 障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例（議員提出条例）の制定
<p>県議会では、昨年5月に特別委員会を設置し、障がい者差別の解消をめざす条例策定の必要性も含めた調査検討を行い、約1年間の検討を経て条例案を取りまとめました。この条例案は、本年6月29日の本会議において、全会一致で可決・成立しました。</p> <p>この条例は、すべての県民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、施策を総合的かつ計画的に推進することを目的としています。</p>  <p>特別委員会の様子</p>	

6月	⑩ 大規模な災害その他の緊急事態への対応に関する規定を盛り込む議会基本条例（議員提出条例）の改正
----	--

県議会では、昨年9月に、議会改革推進会議内に「議会改革度の向上及び議会基本条例の改正に関する検討プロジェクト会議」を設置し、検討した結果、議会基本条例に「大規模な災害その他の緊急事態への対応」に関する基本的な規定を新設する必要があるとの結論に至りました。その後、同会議では、パブリックコメント等を経て、議会基本条例の改正案を取りまとめました。

この条例改正案は、本年6月11日の本会議において、全会一致で可決・成立しました。



本会議での議案説明の様子

6月	⑪ 「大規模な災害等緊急事態への県議会の対応に関する検討会」を設置し、検討を開始
----	--

議会改革の取組の一環として、議会基本条例に「大規模な災害その他の緊急事態」への対応に関する規定を盛り込んだことを受けて、本年6月に「大規模な災害等緊急事態への県議会の対応に関する検討会」を設置しました。

検討会では、11月現在、大規模な災害等緊急事態において、県民の生命・財産を守るための議会、議員としての役割や執行部の災害対策本部との関わりなどを検討しており、今後は復旧・復興に向けた議事機関としての対応などを検討していく予定です。



検討会の様子

1月、3月、10月、12月	⑫ 「若者と政治」、「スポーツによる地域振興」、「議会改革」、「災害時における議会の役割等」をテーマにした「議員勉強会」を開催
---------------	---

「議員勉強会」は、県政を取り巻く諸課題の中から、特に必要があると思われるテーマについて、全議員を対象に外部有識者からご講演いただき議員間で知識の共有化を図る取組です。

〈開催月及びテーマ〉

1月「若者と政治」

3月「地域が育てたスポーツクラブ アルビレックス新潟」

10月「これからの議会改革に問われるもの」

12月（予定）「災害時における議会・議員の役割と取組」



議員勉強会の様子

～分権時代を切り開く交流・連携の推進～

7月	⑬ 紀伊半島三県議会交流会議を熊野市で開催
<p>7月30日に、三重県熊野市において、三重県、和歌山県、奈良県の三県議会による、第12回紀伊半島三県議会交流会議が開催されました。</p> <p>会議では、紀伊半島アンカールートの整備に必要な予算の確保や未事業化区間の早期事業化を三県で連携して国に要望していくことや、サイクルルートの整備やイベントの開催、情報発信などを行っていくことを合意しました。また、今後も情報共有等を行いながら、三県が連携していくことでも合意しました。</p>	



紀伊半島三県議会交流会議の様子

～議員報酬、政務活動費及び選挙など～

3月	⑭ 議員の定数（45人→51人）、選挙区等の見直しに関する条例（議員提出条例）の可決
<p>本年2月に、議員提出条例案として、県内の選挙区間における地域間の均衡の調整を図るため、議員定数を45人から51人に改め、鳥羽市・志摩市選挙区（定数2人）を鳥羽市選挙区（定数1人）と志摩市選挙区（定数2人）に改めるとともに、5つの選挙区（伊勢市選挙区、尾鷲市・北牟婁郡選挙区、熊野市・南牟婁郡選挙区、多気郡選挙区、度会郡選挙区）について定数を各1人増する条例案が提出されました。</p> <p>同条例案は、本年3月22日の本会議において、賛成多数（賛成23、反対22）で可決されました。</p>	





本会議での採決の様子

4月	⑮ 政務活動費を減額
<p>議会経費縮減のため、平成29年4月1日から政務活動費を条例本則に規定する額から20%特例的に減額している取り扱いを平成31年4月29日まで継続することとしました。</p>	




本会議での議案説明の様子

7月	⑯ 「議会経費削減に関する検討プロジェクト会議」を設置し、検討を開始
<p>県議会では、本年7月に、議会経費の削減について検討を行うため、議会改革推進会議内に「議会経費削減に関する検討プロジェクト会議」を設置しました。</p> <p>同会議では、11月に旅費の見直し案を決定するとともに、今後政務活動費等その他の議会経費削減の検討を進めています。</p>	
	
<p style="text-align: center;">検討プロジェクト会議の様子</p>	

9月	⑰ 議員の定数（51人→45人）、選挙区等の見直しに関する条例（議員提出条例）の否決
<p>本年6月に、議員提出条例案として、県内の各選挙区間における一票の格差の是正を図るため、議員定数を51人から45人に改め、鳥羽市と志摩市の選挙区を合区して定数を1人減するとともに、5つの選挙区（伊勢市選挙区、尾鷲市・北牟婁郡選挙区、熊野市・南牟婁郡選挙区、多気郡選挙区、度会郡選挙区）について定数を各1人減する条例案が提出されました。</p> <p>同条例案は、本年9月14日の本会議において、賛成少数（賛成23、反対24）で否決されました。</p>	
	
<p style="text-align: center;">本会議での採決の様子</p>	

～その他～

9月	⑱ 公共政策大学院からインターンシップ実習生を受け入れ
<p>県議会では、平成21年度から、議会における政策立案の充実、学生のキャリア形成の支援、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、公共政策大学院の学生をインターンシップ実習生として受け入れています。</p> <p>今年度は、京都大学大学院の学生を実習生として受け入れました。実習生は、県議会や県議会議員の役割等について学んだ後、正副議長等に対し、インターンシップ実習の成果として報告会において、「三重県議会の地域防災・減災対策への関与のあり方」について提案をしました。</p>	
	
<p style="text-align: center;">インターンシップ実習生による報告会の様子</p>	